

(地独) 青森県産業技術センター水産総合研究所
 ホタテガイ振興室、漁場環境部
 青森県 東青地方水産事務所
 下北地方水産事務所
 水産振興課
 青森市水産振興センター

ホタテガイ採苗速報

**付着数の多い場合には通常間引きをしてください
 袋に付着した稚貝や落下した稚貝も有効活用しましょう**

1 ホタテガイの付着状況

6月7～11日に行った第1回臨時付着稚貝調査の結果は、図1、2および別表1、2のとおりで、ホタテガイ稚貝の平均付着数は西湾で6,988個/袋、東湾で153,762個/袋と、それぞれの平年値(過去10年の平均値)83,030個/袋、237,220個/袋より少なくなっていますが、昨年のそれぞれの平均付着数、3,549個/袋、2,440個/袋より多くなっています。

ホタテガイ稚貝の平均殻長は、西湾で2.01mm、東湾で1.84mmとそれぞれの平年値1.69mm、1.35mmよりも大きい状況です。

2 ムラサキガイ等の付着状況

ムラサキガイの付着数は全湾平均で136,347個/袋と平年値61,324個/袋より多く、キヌマトイガイの付着数は10,599個/袋と平年値106,201個/袋より少ない状況です。

3 今後の見込み

(1) 付着数が少ない採苗器

過去の調査結果より、**付着数が5万個/袋以下の場合、袋替えをすると大きな稚貝の割合が高くなりますが(図3)、袋替えをしないと、種苗として利用できる殻長6mm以上の個体数が多くなる(図4) ことが分かっています。**付着稚貝数の少ない場合は、**袋替えを控えた方が稚貝を多く確保できます。**

(2) 付着数が多い採苗器

付着数が多い採苗器は、稚貝の成長が悪くなり、稚貝採取が遅れる可能性があります。稚貝が袋に偏っていたり、採苗器ごとの付着数にバラツキが見られるので、**自身の採苗器の付着状況を十分に把握して間引きましょう。**全湾で稚貝が確実に目で見えるサイズ(殻長2～3mm)になり、通常間引きができるようになりました。なお、袋替えおよび間引き作業の注意点は3ページに、袋替え後の袋と落ちた稚貝の有効活用については3、4ページにあります。

4 お知らせ

稚貝採取の詳細な時期については、**6月24日に第2回全湾付着稚貝調査(中層1袋、同じ地区に投入した採苗器で間引き・袋替えを行ったもので行っていないものがある場合はそれぞれ1袋ずつ)**を実施し、6月27日発行予定のホタテガイ採苗速報第12号に掲載しますので、参考にしてください。

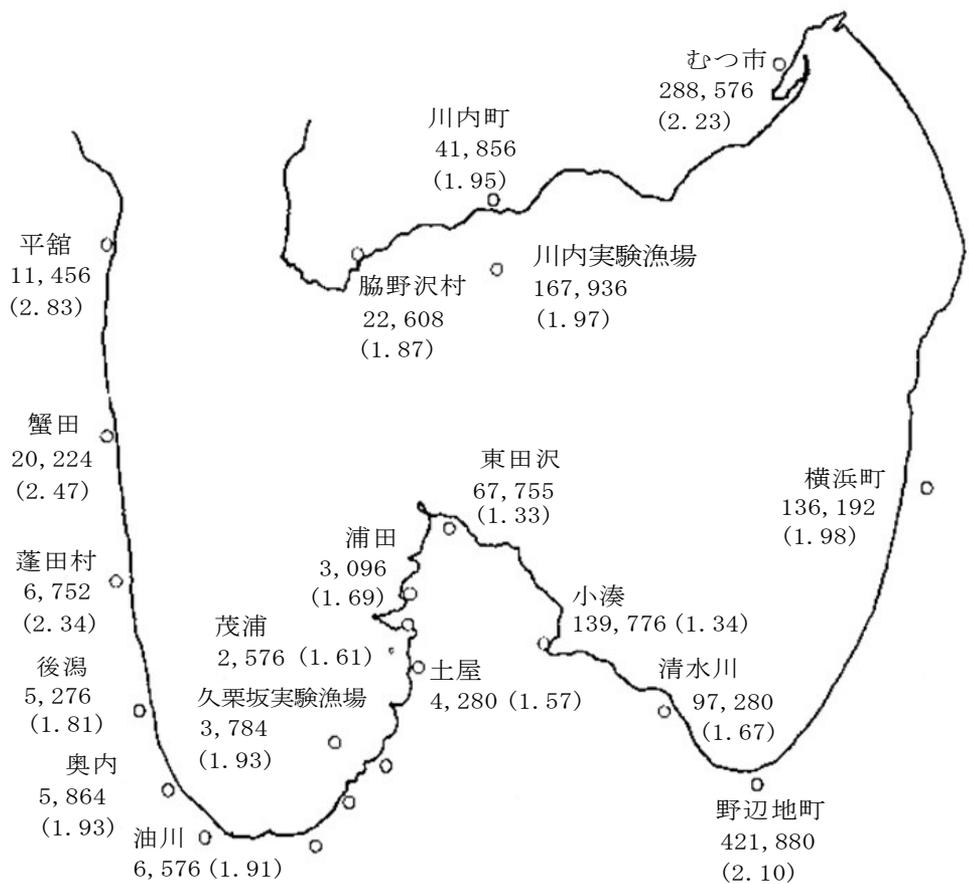


図1 漁協、支所別のホタテガイ付着数[単位：個/袋(平均殻長mm)]

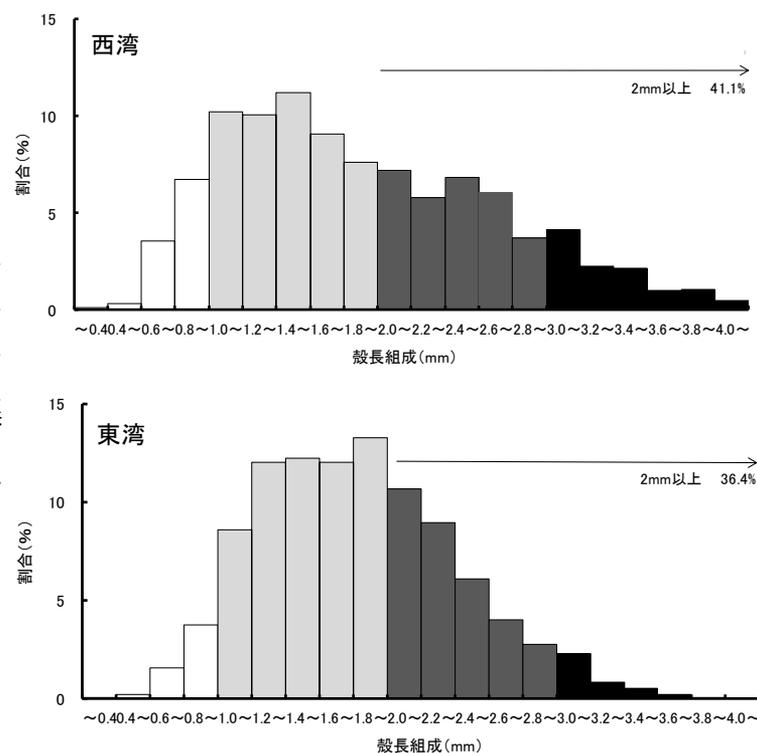


図2 ホタテガイ稚貝の殻長組成



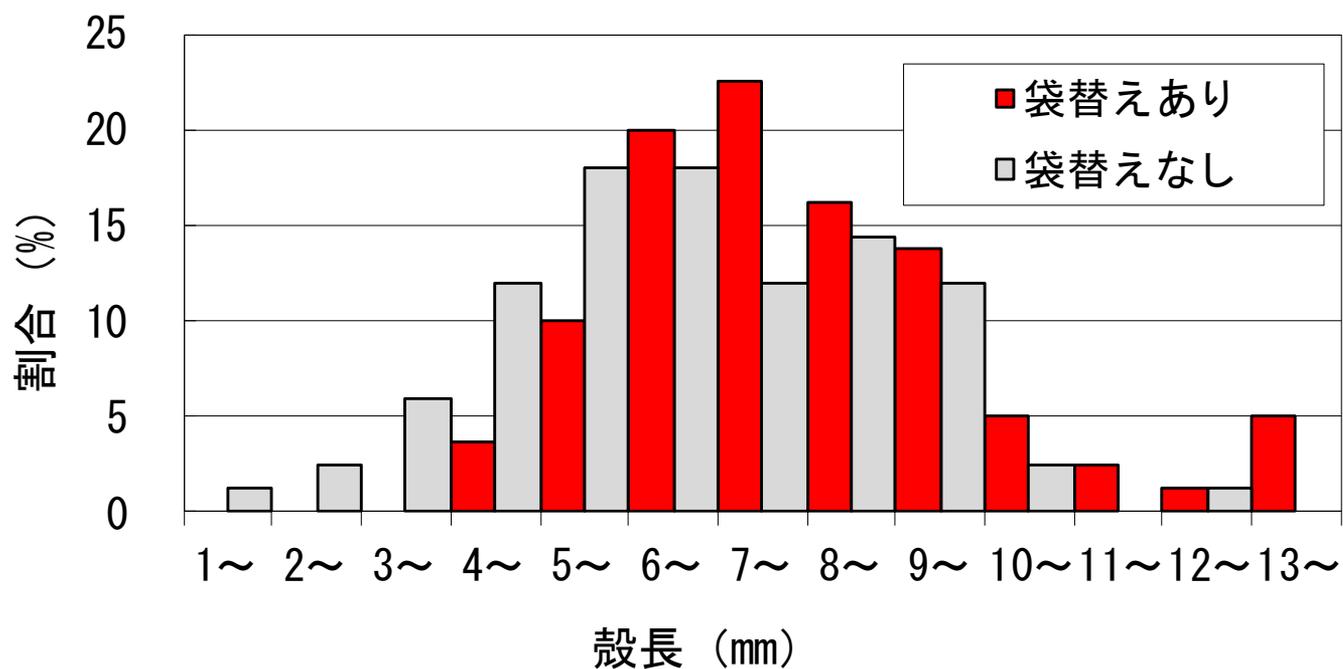


図3 袋替えの有無別殻長組成

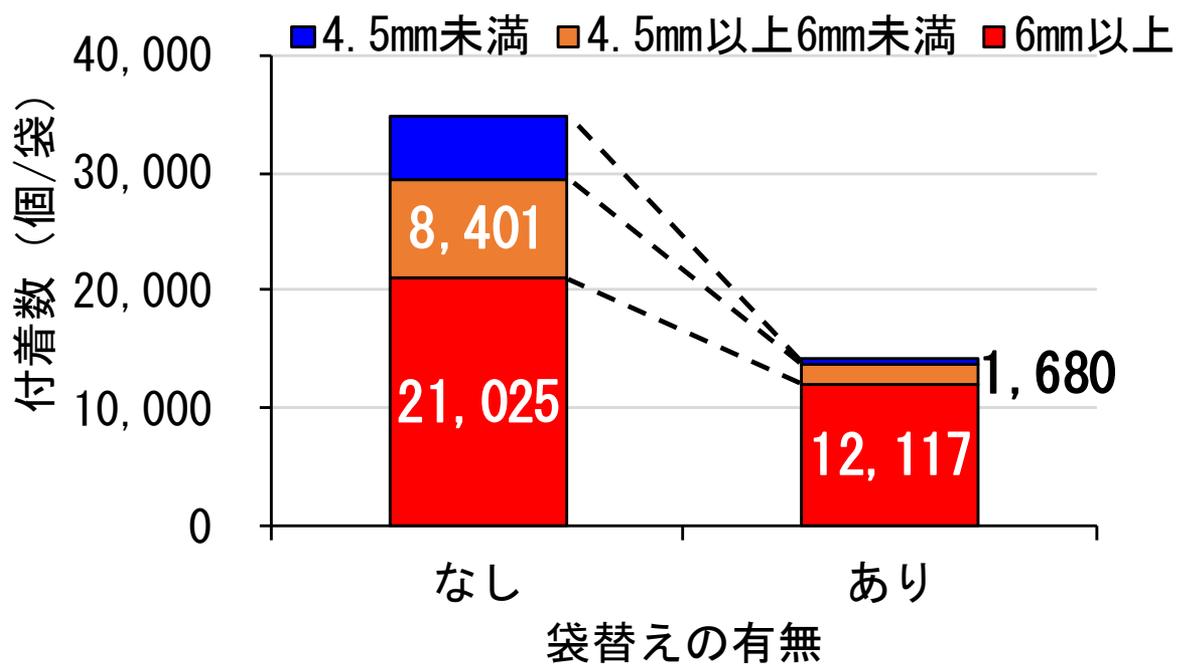


図4 袋替えの有無別付着数
 (赤：殻長6mm以上の種苗、橙色：殻長4.5mm以上6mm未満の種苗、青：殻長4.5mm未満の稚貝、図中の数字は種苗数)

※袋替えおよび間引き作業の注意点

- 採苗器の状況を十分に把握する（稚貝の付着数は地域、垂下水深、投入時期等によって異なる）。
- 稚貝へのショックは出来るだけ少なくする（間引きを行う場合は、流し網などの付着基質を上下に振るだけにして船べり等に叩き付けない）。
- 採苗器へ残す稚貝の数を自分の目で確認しながら適正にする（2万個程度になるように）。
- 作業後は、施設を安定させる。
- ヒトデの付着が見られるときは、結び目をよく洗う。

袋替え後の袋と落ちた稚貝の有効活用

(1) 袋の有効活用

稚貝が付着した袋を用いて3種類の採苗器（図5）をそれぞれ2袋ずつ作成し、施設に垂下した結果、採苗器の種類にかかわらず目合い1.5分のパールネットに収容できるサイズまで成長し（図6）、①の稚貝が付着した袋を新たな採苗器に収容した採苗器が他の採苗器と比べて2倍以上の種苗を得る（図7）ことができました。



①稚貝が付着した袋を新たな採苗器に収容した採苗器
②稚貝が付着した袋を新たな袋に収容した採苗器
③稚貝が付着した袋に新たな流し網を収容した採苗器

図5. 試験に使用した3種類の採苗器

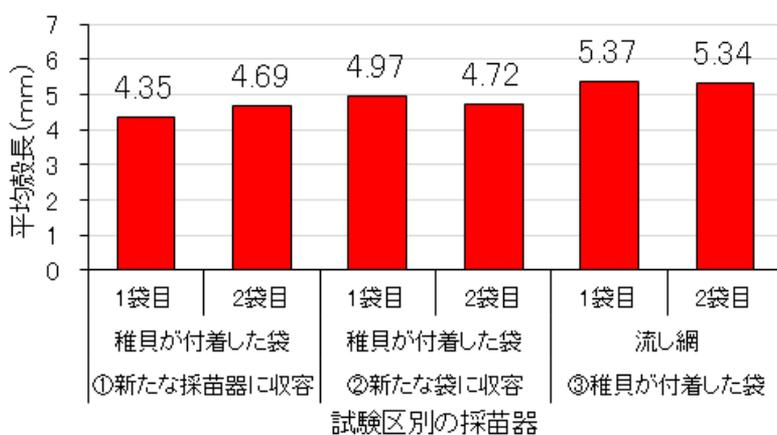


図6. ①～③の採苗器の種苗の平均殻長

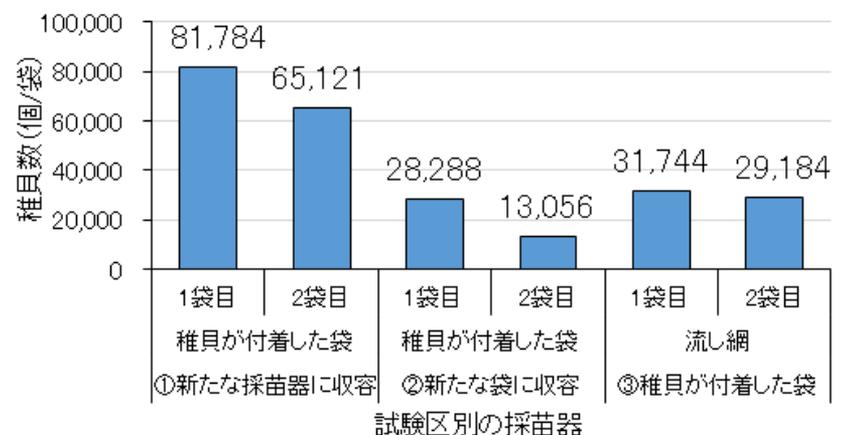


図7. ①～③の採苗器の種苗数

(2) 落下した稚貝の有効活用

採苗器から落下した稚貝を新たな採苗器2袋それぞれに一掴みずつ再収容し、施設に垂下した結果、目合い2分のパールネットに収容できるサイズまで成長した(図8)ことから、採苗器から落下した稚貝であっても利用できる種苗となることが分かっています。

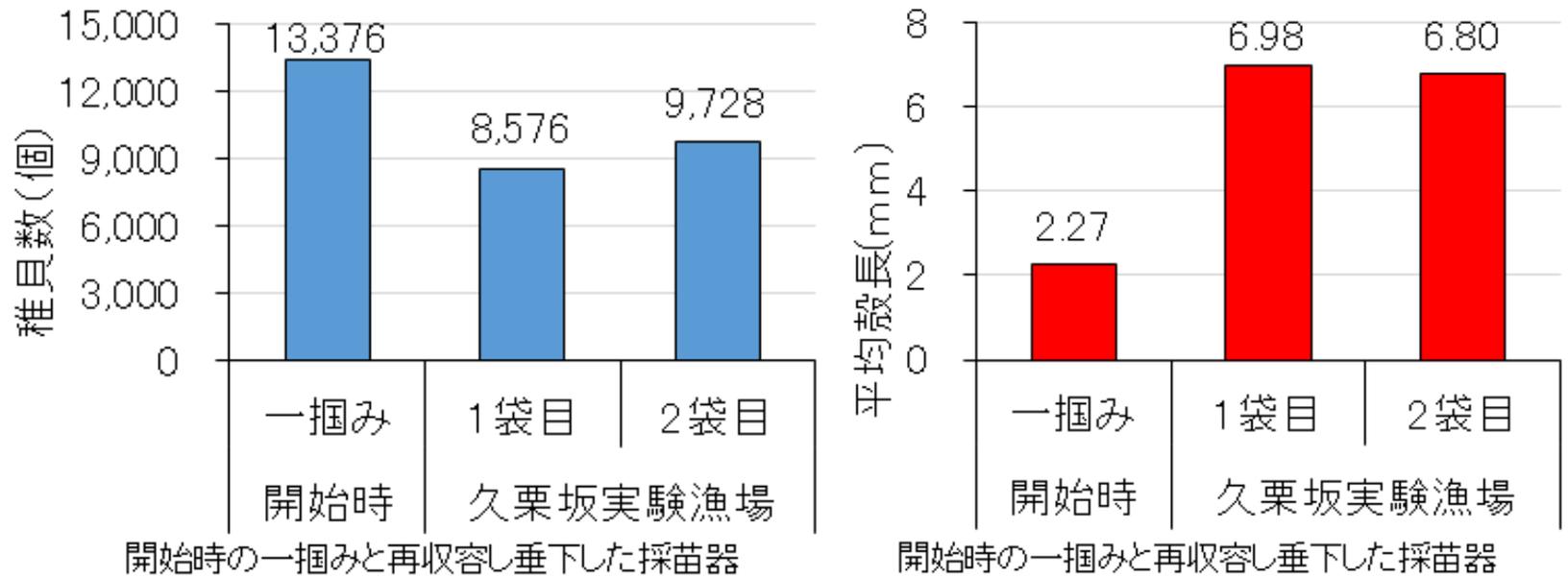


図8. 令和4年6月の開始時と8月に久栗坂実験漁場から回収した採苗器の稚貝数と平均殻長